

町内会を深掘り!

東白石地区

本郷町内会

町内会の
みなさんに
お話をうかがい
ました!



● 地域の特徴 ●

地下鉄東西線「南郷7丁目駅」周辺に広がる地域に位置しており、町内には本郷商店街が広がっています。多くの商店が立ち並び、日々の暮らしを支える便利なまちとして親しまれています。町内会で運営している本郷会館は、住民の交流の拠点として活用されています。

ちょっとした困りごとを町内会でサポート

本郷町内会では、住民に町内会への関心と親しみやすさをもってもらえるよう「顔の見える関係」を目指して、さまざまな行事を開催しています。行事の企画では、多世代が交流できる場になることを意識し、前年と同じ内容にとどまらず、新たな試みを取り入れる等、会員の皆さんに楽しんでもらえるよう、毎回工夫を重ねています。平成28年に住民の発案で始まった「本郷町内会文化祭」は、手芸作品の展示やステージ発表など、住民の特技や個性が光る場として毎年盛り上がりを見せています。このような住民主体の活動を通して、「みんなで町内会をつくる」ことを意識しています。

また、福祉部では、高齢者を中心とした町内会員のちょっとした困りごとをお手伝いする「暮らし応援隊」

という生活支援の活動に取り組んでいます。月2回相談窓口を開設し、ゴミ出しや電球交換、買い物など、日常生活の困りごとをサポートしています。福祉部長の奥田さんからは、「暮らし応援隊だけでなく、サロンやふれあい健康体操等も行っています。忙しいですが、大変だとは思っていません。皆さんに喜んでもらえることが嬉しく、それが元気の秘訣にもなっています」とお話しいただきました。住民の期待に応えながら、やりがいと責任感をもって、日々活動に取り組んでいます。

今後の取り組み

暮らし応援隊には、令和6年度は29件の相談が寄せられました。一方で、実際には相談に至っていないものの、生活の中で困りごとを抱えている方が、まだまだ多いのではないかと感じています。今後は、より気軽に相談してもらえるよう、周知活動に力を入れていきたいと考えています。

また、町内ではマンションなどの集合住宅が増え、どのような方が住んでいるのか見えにくくなってきています。町内会に関心をもってもらえるよう、行事の案内や広報誌の配布を通じて、町内会の活動を知っていただき、参加してもらえるよう、今後も働きかけを継続していきます。



暮らし応援隊の活動
「集合住宅から大型ごみを運ぶ作業」



本郷夏祭りに参加